

|                  |   |
|------------------|---|
| Title            | 所謂る産業の不安  |
| Sub Title        |   |
| Author           | 気賀, 勘重  |
| Publisher        | 慶應義塾理財学会  |
| Publication year | 1917  |
| Jtitle           | 三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.11, No.12 (1917. 12) ,p.1608(82)- 1634(108)   |
| JaLC DOI         | 10.14991/001.19171201-0082  |
| Abstract         |   |
| Notes            | 論説  |
| Genre            | Journal Article   |
| URL              | <a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19171201-0082">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19171201-0082</a> |

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 所謂る産業界の不安

氣 賀 勘 重

最近二年有餘の間我國産業界の各方面を賑はせる好景氣の氣運は兩三月以來一轉機に際會せるものゝ如く、事業不振に惱める企業家の漸次其數を加へ來ると共に産業界の不振又は不安の嘆聲は漸く各方面に喧傳せらるゝに至れるの狀あり。而して其の所謂る不振又は不安の事實は恰も現政府の新施設たる所謂る物價調節令並に船舶管理令等の公布と殆ど時を等ふして實現し來れるもの多きが爲に、此嘆聲は政府の新政策に對する怨嗟非難の聲と相和して殊に高さを致せるものゝ如し。然れど翻つて之を觀れば産業界には何れの時機に於ても多少不振に苦むの企業あらざるなく、前途の安全を危まるゝの産業あらざるなし。蓋し現

經濟社會に於ては能く社會全般の需要の存する所を洞察すると共に其一方に於て既存の生産要素を適宜糾合して其需要に應ずる生産事業を企畫遂行すること企業家の職責とする所、而して企業家が能く此職責を果たすと否とは當該企業の振不振、成功不成功の據つて岐るゝ所たるが故に、各企業家は必然其最善を盡し萬誤算なきを期して其事業の企畫經營に従事するの常なりと雖も、企業家も固と是れ神人に非ず、時に其豫想に誤なきを得ざると共に、天災地異社會的事變等全く人智の推測を超越せる事變の時に突發して其豫測を水泡に歸せしむることなきに非ず。従つて企業家の心裡を窺へば如何に順境に在るの人と雖も當面の事業に對して多少の不安を感ぜざるは無かる可く、又數十百萬の企業家中實際の豫測を誤り需要に適應せざるの生産を爲して其事業の不振を啣つ者多少實在せざるはなかる可し。果して然らば一部に産業の不振を啣つる士常に絶えざると共に、斯る不振に際會し得るの危虞即ち所謂る不安は何れの時と雖も各方面の産業に多少存在せざることなし。換言すれば一部の不振と共に一般の不安は現代産業界常住の事實なり。然るに最近に至り、此嘆聲の特に著しきを致せる所以のものは

惟ふに世間大多數の企業家の豫測其度に適し其生産概ね需要に適合して各企業何れも豫想相當若しくは豫想以上の利潤を收めつゝある好景氣期に於ては一部少數の企業の失敗又は不振は世間多數の注目する所とならず又斯る時期の常として企業家の豫想多く適中せるの觀あるが故に各企業家も亦其將來の成功を推想して不安を感じること割合に痛切ならざるなり。即ち世間一般は眼前の好景氣に眩惑して將來の不安を感じざる者割合に少なしと雖も形勢一變或る一部の産業に重大なる變動起りて大破綻を曝露するか若しくは景氣の昂進正に其絶頂を經過して將來の不景氣を豫想せしむるの事實眼前に現はれ來ることあるに於ては好景氣期に潜在せる一般の危慮心は實際畏怖となり企業心の萎靡となりて此所に所謂の産業界の不安を現出するに至る。我國最近の産業界不安の叫びも亦畢竟此一般的畏怖心の發現に外ならず。換言すれば近き將來に於て不景氣に陥るの虞多き産業漸く増加し來り多數企業家の畏怖心頓に發現せるの結果に外ならざるなり。

二

我が最近の經濟界を通觀すれば兎に角將來の不景氣を危惧しつゝある産業の頓に増加せるは事實なり。當局企業家が各自既往兩三年の好景氣を將來に豫期し難しと覺悟せる者益多きを加へ來れると共に急轉直下の景氣反動を畏るゝ者漸く加はれるは殆ど凡ての産業に於ける現下の實狀なり。而して此産業界の不安は單に今日の現狀に止まらずして將來益其度を加へ其範圍を擴大せんとするの形勢すら認められざるに非ず。此に於てか其救治の策を講じ其不安を刈除するの案を云爲するの議論囂々たるに至る。亦宜ならずとせず雖も苟も斯る社會の大勢に對して其傾向の轉換又は逆轉を策せんと欲せば吾人は須らく其由つて來れる原因を明にせざる可らず。蓋し其原因の性質如何は之が對策立案の前提たると共に其對策實行の能不能成功の由つて決せらるゝ根本たればなり。敢て問ふ我が最近に於ける産業界不安の原因何れに在りや。

一部の論者殊に現政府反對の態度を持する論客は其原因を政府の政策に歸し、此不安を醸せる者は不徹底なる物價調節令船舶管理令等の新施設米國の鋼鐵輸

出禁止、金輸出禁止等を致さしめたる外交政策等に在りと爲すの風あり。此等各種の新施設が外交上の事件と共に恰も時を等ふして發生し、一部物價の昂騰を抑制して多年繼續し來れる好景氣の氣勢を殺げる事實は吾人之を認めざるに非ずと雖も、然かも單に此等の事實を以て最近に於ける産業界不安の根本原因全部の原因と爲すに至つては吾人聊か疑なきを得ず。前大隈内閣時代の施設は暫く之を擱き近く現内閣の施設せる所のみに就て之を觀るも、金融調節を目的とせる内外債發行の如き大に物價に影響を及ぼす可き政策の既に以前に實行され又は立案公布されたるものなきに非ず。一片未實行の所謂る威壓的法令以て、好景氣の大勢を挫くの方あるものなりとせば此等既遂の政策は勿論前内閣の非募債主義を拋棄せる現内閣の成立其自身既に好景氣の大勢を挫折す可き筈なるに、然るに事實は之に反し、一般産業界の好景氣は現内閣の治下に於て其勢を持続せるのみならず、爾來十個月間は益、其勢を昂め來れり。外交上の事變及び之に對する政策亦之と等しく、英國の羊毛禁輸、英佛諸國の各種輸入禁止等我國當業者の希望に協はざる幾多の政策の與國政府に依りて敢然實行されたるもの甚だ少なからざり

しに拘らず、我が産業界に於ける不安の聲は遂に聞くに至らざりしが如し。由是觀之、單に政府の施設を以て現下の不安の主因と看做せる論者の説には吾人は贊するを得ざるなり。

然るに又一方には貿易關係の激變を以て此不安の原因と爲す者あり。實に米國の參戰と之に伴ふ同國の貿易政策は實に直接間接の關係當業者に不安の念を抱かしめたるものなきに非ず。彼の鐵の輸出禁止は我が造船業者のみならず、各種の機械工業家を初め輸入機械に依頼せる幾多の工業者をして其將來を懸念せしめ、其の金輸出禁止は我が當路者の金輸出禁止を促して印度棉花輸入の困難と對支貿易將來の危険とを危惧せしむるに至れるのみならず、敢然たる其施設は將來に於て更に生糸茶等の輸入禁止又は棉花の輸出禁止をも實行するに至らずやと懸念せしむるに至れり。一部企業家の不安を感ずるに至れる眞に宜なりと雖も、併し前にも述べたるが如く從來英佛其他の與國の各種の禁輸又は貿易制限に基づける一部企業家の困難と不安とに更に動かざりし我が一般實業家の心膽が單に米國の政策の爲に斯くも甚だしく動かさる可しとは吾人亦之を信ずるを得

す。縦令ハ米國の斯る政策を全然吾意の儘に変更せしむることは不可能なりとするも、其善後の政策に就ては尙ほ多少の望なきに非ず、又其望絶えたりとするも他に幾分か之を補ふの途なきに非ざるは過去に於ける幾多の事實の之を示せるものあるなり。然るに之に拘らず、英佛の禁輸の場合の如き未經験なる當時に甚だしき不安を感せずして経過したる我が産業界が既に數次之を経験したる今日に及んで斯の如く甚だしき畏怖の念を起す可しとは如何にしても吾人の想像する能はざる所なり。

産業界一般の不安の根本原因が斯の如く政府の政策に非ず、又對外貿易の關係にも非ずとせば、戦局の推移に之を求む可きか。實に露軍は益、敗退して「リガ」は陥り「バルチック」艦隊は全滅に瀕して内亂益熾なり。英軍の捷報日に傳へらるゝも其進出の形跡更に認む可きものなく、敵軍の疲弊日に傳へらるゝも獨軍一度向ふて伊軍戦線全く守を失ふ。戦局の推移益、我が與國に有利ならざるの形跡日に月に益、明なるに至りては吾が産業當局者の將來を危惧する亦一理なきに非ずと雖も、翻つて既往を顧れば斯る形勢は敢て今日に初まれるに非ず。露軍「ガリシヤ」の

敗退より同國革命の勃發、塞耳比の滅亡、「サロニカ」の退嬰何れも其徹に非ざるなし。戦勢の與國に有利なりし日は少なくして不利なりし日は既往常に多かりしなり。然かも此間に於て我が産業は發展し、我が經濟界は好景氣なりしなり。然るに最近に至り同一の事情が直に反對の現象の原因と爲り不安の根本原因となる可しとは吾人は之を信ずるを得ず。與國の戦敗は多少不安を感せしむるに相違なしと雖も、最近見るが如き一般的不安を感せしむるには更に他の原因の大に之を助くるものあるを覺えざるを得ざるなり。

産業界不安の叫びが最近一二個月以來頓に高まり來れるより觀れば、世人が其原因を最近發生の事實に求めて此に如上の言を爲すも決して怪むに足らず。又如上の事實は何れも最近不安の事實發現と殆ど時を同ふして相續出せるのみならず、一部の人士に著しく不安の念を起さしめたることも亦争ふ可らざる次第なれば、其所言は全然之を否認す可きに非ざること勿論なりと雖も、然かも同様の事實が既往に於て既に幾度か發生しながら遂に最近に於けるが如き不安の事實を現出せざりしより觀れば、吾人は更に此等の事實以外に一層根本的なる大なる事

實の此不安を惹起せしめたるものもあるを覺えざるを得ず。惟ふに如上の事實は何れも此不安を實現せしめたる一部の助因に過ぎず、其根本的原因に至りては別に他に存するものあるなり。他なし既往に於ける經濟界の大發展、大好景氣即ち是なり。凡そ事の成るや成るの日に成るに非ずして必ず由つて來る所あり。産業界の不安の起る亦其範に漏れず、遠く由つて來る所あり。之に先立つ好景氣は即ち其本源にして、不安は經濟界の大發展と大好景氣の趨勢に伴へる當然の結果に外ならざるなり。

三

熟らく、最近兩三年間に於ける我が經濟界好景氣の由來を稽ふるに一に世界的供給の不足に在り。世界的大戰亂に伴へる各種貨物の供給不足は我國の生産に對する世界の需要を激増せしめ、此需要の激増は物價の騰貴を促して此に我が最近の好景氣を現出せしめたるなり。蓋し大亂の發生と共に歐洲の工業國殊に同盟國よりする輸出は交通と共に著しく妨害せられ、其輸出障害に基づく中立諸國及び聯合諸邦に於ける供給の缺陷は先づ第一に米國及び我國等の産業に向つ

て需要を激増せしめたるものあり。第二に國力を擧げて戦ひつゝある歐洲諸邦が工業上の先進國にして然かも此等諸邦の産業が戦争の爲に生産力を減じたるの結果は其輸出の減退と爲り、其減退の缺陷は等しく日米等の工業に向つて補充を求むるに至れるものあり。第三には交戰國に於ける軍需品の需要激増せるの結果、各國內の供給に満足する能はずして之が供給を廣く他國に求め、其需要の延ひて遠く我國に至れるもの亦甚だ少なからざるなり。是に於てか我國生産業にして苟も此等の新需要に應じ得る者は日夜兼行の營業も到底其需要を充たすに足らず、擴張又擴張以て之に應せんとするも一時に幅濶し來り、然かも各自舊來の供給の日に益不足を告ぐると共に益、外國に向つて要求し來る其需要の増加には到底充分に應ずるを得ず。我國の此等生産業者は米國其他の戰鬪圏外に立てる諸國の生産業者と共に其事業の擴張遂行に日も亦足らざるの實を現せり。而して此供給の不足は必然の結果として其生産物の市價昂騰を伴ひ、其市價昂騰は企業家を初めとして勞働者商人等其産業従事者の収益を著しく増加せしめたるものあり。而して供給愈不足して市價益騰貴する其傾向は益、當業者の希望を大な

らしめ遂に先づ此等の産業従事者をして前途洋々たる好景氣の風潮に漂はしめ、幾多の成金此に續出して世は正に黄金時代に入れるの觀あらしめたるなり。

さはれ斯る順潮の景氣は勿論同時に一切の産業界を襲へるに非ず。之を我國に觀るも一切の生産物悉く外國の需要に適するものに非ず。外國に全く需要なき純内地向の商品の生産せらるゝもの少なからざるは何人も知悉する所にして、此等の商品に對しては開戦後と雖も直に其需要の増加を見たるに非ず。従つて、一見此戦争景氣の幸運に浴するを得ざるやの觀なきに非ずと雖も事實は然らず。凡て景氣の常として一産業に起れる好景氣又は不景氣の風潮は必ず多少其影響を他の産業に波及するの性質あり。之を最近の好景氣に徴するに、前述の輸出産業に於ける好景氣先づ起りて此に其産業従事者の所得増進、購買力増加と爲り、此購買力の増加は更に其需要品の生産業に於ける好景氣を誘起して、其影響を第三の産業に及ぼせるの實あり。而して此好景氣波及の程度及び範圍は當初海外の需要増加に基づき好景氣に浴せる産業の範圍の廣汎なりし丈け殊に廣く且つ大なりしが如し。即ち景氣は常に波及性を有するものなれども這回の好景氣は其

波及の範圍特に廣く其波動亦頗る大なりしの實あり。これ即ち最近に於て殆ど前例なき高度の一般的大景氣を現出せる所以たるなり。

加ふるに、最近の好景氣は其原因の大々的供給不足、持續的の供給不足に基ける丈け其持續性も亦普通の場合に於ける好景氣の例を逸せり。蓋し普通の場合に於ては好景氣の一度一部産業に發生するや、其産業に於ける生産の擴張は久しからずして其絶頂に達し、其需要と平均するに至るの常なれども、這回の好景氣は之と異なり、戦局の擴大と共に益々緊張せる需要の増進は供給をして容易に需要に追求するを得せしめず、戦争の繼續と共に久しく其進運を持續せしめたるものあり。其結果世人をして苟も戦争の繼續する限り此好景氣は持續するものなるの感を抱かしめ、普通の場合に於ては世人をして反動の襲來を危惧せしむる程の市價の昂騰も、這回の景氣に於ては殆ど全く危懼の念を抱かしめざるに至れるの狀あり。蓋し染料薬品を初めとして幾多の商品の前例なき市價の昂騰を示しながら然かも數十個月に亘りても毫も低落の形跡なく却つて益々騰貴の勢を示せるより觀れば、世人の此る觀念を抱くに至れるも亦宜ならずとせざるなり。

然り而して好景氣の此持續は又其一方に於て好景氣に通有なる世人の投機的行動を愈益熾ならしめ、市價の昂騰をして實際の需要の許す程度以上に遙に奔逸せしめたるものあり。蓋し景氣昂進期に際しては商人は商品を仕入るれば即ち利潤を得可く、生産者は生産すれば即ち豫期又は豫期以上の利潤を得可きが故に商人の仕入と生産業者の生産は其資力設備の許す限り擴大せらるゝは自然の勢といふ可く、而して其仕入も將た又生産も人に先んずれば、先んずる程益、有利なる可きと共に、其販賣は敢て急を要せず、一日後るれば一日の利潤を生ずるの常なるが故に、商人も生産業者も其手許に在庫品を増加して敢て辭せず、中にも資力の裕なる者は買占又は賣惜の態度を保持して只管其在庫品の多きを競ふの觀を呈する上に、更に先物の買約すら力の及ぶ限り之を試みて敢て辭せず、以て只管日々月々に騰貴する代價の騰貴に依りて益、其利益を増大せんと期するに至る。而して代價騰貴に依りて利せんとする生産業者の此盡力は更に一方に於ては其原料の仕入に於ても亦各自益、競ふて其代價の未だ昂騰せざるに先づ之を仕入れんとする投機的の盡力と爲り、此にも又可及的多額の原料の蓄積又は購買豫約と爲るに

至る。然るに商人及び生産業者の此投機的行動は當該生産物の市場より觀れば一方に於ては供給の減縮にして又他の一面に於ては需要の増加と爲るが故に、市場の供給は恰も需要に比して益、少なきの觀を呈せしめ、需要は之に反して益、大なるの觀あらしめ、市價の騰貴をして實際の商品在高に對する需要の關係以上に著しく市價を騰貴せしむるに至るなり。換言すれば商人及び生産業者の此投機的行動は實際に於ては其手裡に於ける當該商品の生産及び現在高を増加せしむると共に、其供給をば實際以下に減少せしむるの實あるなり。然り而して左なくとも既に昂進の勢ある市價が此一般的投機的行動の爲に著しく其昂騰の勢を助長せらるゝは言ふ迄もなき所、好景氣の趨勢が此市價昂騰の爲に更に著しく翼進さるゝものあるは復た多言を要せざるなり。最近兩三年間に於ける我が藥品其他種々なる商品の市場が其商品の缺乏又は皆無を口にしつゝ、然かも其市價の著しき騰貴を示すか若しくは市價既に其絶頂に達して、正に急轉直下の形勢を示さんとするに際して意外に潤澤なる供給又は甚だしきに至りては投資の事實を現ずるに至れるは正に一大部分の商人及び生産業者の間に斯る大々の投機の行はれ

つつありしを證明するものといふ可し。

四

然れど好景氣は由來一般に激烈なる反動性を有せり。景氣の昂進其絶頂に達するや急轉直下の一大反動を生じ、既往數年月の間に漸次昂騰し來れる其市價は數時日の間に暴落して時に不景氣期の平準以下に達することすら無きに非ず。生産業者及び商人の最も畏るゝ所は即ち此反動にして、此等の人士は何れも此反動の至らざるに先づ其所有商品を處分し、充分の利益を擧げて反動の損失を免るるに苦心するなり。然らば敢て問はん、此反動はそも如何なる場合に於て發生す可きか。

由來物價の騰貴には自ら限度あり。需要の増加に伴へる物價の騰貴には殆ど實際なきが如しと雖も、需要の増加に伴ふて市價の昂騰するは畢竟市價の引上に依り購買能力比較的薄弱なる購買希望者をして其希望を放棄せしめ其需要を減じて以て之を當時の供給と平均せしめんとする現經濟組織の妙用に外ならず。此妙用に依りて現社會に於ける需要と供給は常に其平衡を保ちつゝあるなり。

故に最近に於ける世界市場の如く舊來の方面よりせる供給日に減少し、新なる需要月に加はりつゝあるの時に當りては、物價は日に進み月に昂まりて然かも尙ほ永く其需要の繼續することありと雖も、凡そ如何なる商品に對しても其需要者の購買能力は無限なるものに非ざるが故に、其市價の騰貴一定の限度に達するや多數人士の購買能力の缺乏又は劣等ながらも之に代り得可き代用品の使用等の爲に自ら其需要の停止又は減退を見るに至らざるを得ず。而して此需要増進の勢の停止又は逆轉するの時は即ち市價の絶頂に達せるの時にして、市價一度此絶頂に達するや、生産業者も商人も復た豫想以上の利潤獲得を望むを得ざるのみならず、將來一段の市價騰貴を豫想して事業を企畫經營せる者は損失を蒙るの外なく、縦令ひ斯る騰貴を豫想せざる者と雖も、動もすれば損失を醸すの危険なきに非ず。此に於てか所謂る好景氣は全然其勢を停止し、好景氣期の投機は全く其鋭鋒を挫折せらるゝなり。

さはれ、市價にして單に其昂騰の勢を停止するに止まらしめば着實なる企業家は敢て之を憂ふるの必要なく、正常の利潤を收めつゝ安らかに其事業に従事する

を得可し。然れども事實は常に斯る平靜なる産業界の経過を許さず。景氣昂進の停止は直に其逆轉と爲りて市價の低落と之に伴ふ不景氣を生じ、甚だしきに至りては恐慌に陥らしむるの常なり。蓋し好景氣期に際しては前述の如く多少の投機的行動の伴ふあるを免れず。而して此投機的行動を取れる者は固と市價の騰貴を唯一の目的とせる者なるが故に、一朝市價昂進の望なしと認むるや否や、可及的速に其所有商品を處理して損失の危険を免れんと計るが故に、此に市場は景氣昂進期中よりも多量の供給を見るに至る可く、之と反對に購買希望者は眼前の必要を満たすの外更に購入を敢てする者なく、従つて需要は此に多少の減退を見るに至るの常なり。然るに此供給の増加需要の減退は必然多少の市價下落を伴ふ可きが故に、其下落は更に前述投機者流の心膽を寒からしめ、競ふて其所有商品生産商品の販賣を敢てするに至らしむ可く、其極或は所謂る投賣の風潮を生じ市價の大暴落、市場の大恐慌を現出せしむるに至る。然り而して曩に好景氣期に於ては利潤の希望確實なるの故を以て此等の商人及び生産者に資金を供給し、其生産並に投機を助けたる信用の作用も一朝此不景氣の襲來するに際しては事業の

不安を懸念して其作用を緊縮し、資金供給の此杜塞は更に投賣の風潮を激成して益、其好景氣の反動を甚だしからしむるを常とす。故に好景氣の此反動は曩に其景氣の昂進の著しく其つ永續の年月長かりし丈、反動の勢も亦激烈なるの常なり。最近我が株式界、綿糸布界等に起れる反動が未曾有の激烈なりしものあるも畢竟其景氣昂進の勢の未曾有に強く、且つ其繼續期間の豫想外に長かりし結果に外ならざるなり。

由是觀之、好景氣は早晚必ず其反動を見ざる可らざるの運命を有せり。縱令ひ政府の干渉なく、或る大事變の發生なきも、市價一度其絶頂に達せるの時に於ては必然逆轉の運命に際會せざるを得ざるなり。我が最近に於ける綿糸布市場の反動は正に其一證なり。最近の株式市場の反動も將た又幾多の藥品類の暴落も正に斯の如くして起れり。何等特殊の政府の政策に由るに非ず、何等の重大なる貿易的變調に基けるに非ず、重大なる戦局の變化に依れるにも非ず、漠然たる風聲鶴唳に驚かされて起り、然かも其風聲鶴唳なるの事實明瞭と爲れるの後に於ても其景氣は遂に再び回復する能はざるの状態に在るなり。然り而して一般の生産業

者及び商人殊に投機的行動の最も多き企業家輩の最も畏るゝ所は此反動に在り。此反動の實際に發生せざるも其發生の機正に近けるの事實一度或る事變に依りて明にせらるゝや企業家の不安は此に生じ、多少の事業不振は此に其端を發せざるを得ず。然るに此反動機の接近を最も明確に現はすものは市價の騰貴其絶頂に達せるの形跡に外ならざるが故に、好景氣に基づき市價の昂騰が一度其正常の程度を過ぎて歩を進むるに従ひ、反動來の時機に非ざるかの懸念は漸次加はり來るものといふ可く、市價の昂進愈甚だしきに従つて此懸念は益加はるものといはざるを得ず。唯最近に於けるが如く好景氣期の永く繼續する場合に於ては多數の企業家は單に其眼前の收利の大に眩惑せられて殆ど此懸念を忘却せるの觀なきに非ずと雖も、苟も身を企業界に投ずる者多少靜思するに於ては誰か此懸念の各自の心裡に潜在せるを自覺せざる者あらんや。然れば或る一二の産業に反動又は恐慌の事實起りて少しく世人の注意を促せるか、若しくは或る事件の偶然發生して反動來の懸念を回想せしむるものあるに於ては、一般に潜在せる此懸念の頓に覺醒せられ、所謂る産業界不安の念急に加はり來るに至るも亦當然の勢たる

なり。而して此反動の懸念之に伴ふ不安の危惧が市價昂進の益甚だしきに従ひ益大なるものあるも亦必然の勢なりといふ可し。

此點よりして之を觀るに我が最近の物價は著しく騰貴せり。而して其騰貴の風潮の大なりしことも亦古來未曾有と稱せらる。而して其騰貴は今や或る商品に在りては正に其絶頂に達して復た伸力なきものあり。商品に依りては既に其反動を示して大に下落せるに至れるものあり。縦令ひ未だ下落の風潮を示さざるも既に其騰貴の頂上に接近するに至れるなきやを惟はしむるの商品は日に益多きを加へ來れるあり。或は實際上尙ほ多少騰貴の餘地ある商品と雖も從來に於ける豫想外の騰貴の跡を觀れば其將來頗る懸念に堪えざるを覺えしむるものもなきに非ず。所謂る産業界一般の不安の念増加の根本原因は正に物價頂點の到達を思はしむる既往に於ける豫想外の物價騰貴換言すれば好景氣的氣運の躍進其物に在るなり。

## 五

要するに既往に於ける物價の異常なる騰貴は最近に於ける産業界不安の主因

なり。各種の物價豫想外に昂騰して反動時機の接近を惧るゝの懸念漸く強く一般に感知せらるゝの時に當りて前に挙げたるが如き幾多の事實は幅濶し來り此に頓に不安の念を一層明に自覺せしむるに至れるなり。即ち政府の新に公布したる船舶管理令、物價調節令等は縦令ひ其發布の動機の何れに在りしにせよ、物價の騰貴既に其適度を超過し、尙ほ一層の騰貴は一般公衆に害あるものとして政府の權力を以てしても之を制馭せんとする政府の決心を明にせるものあり。米國に於ける金鐵の禁輸は貿易に對する障害の戦局發展と共に益加はりて復た既往に於けるが如き順調なる貿易の發展を許さざるに至るやの懸念を大ならしめたるものあり。歐洲戰場に於ける戦局の推移亦與國に面白からず、不利益なる講和の意外に速に發現するなきやを想はしむるものあり。我が金輸出の禁止に伴ふ印度支那等に對する貿易の障害亦幾多産業の將來を懸念せしめたるものなきに非ず。戦争景氣今や正に其絶頂に達せるに非ずやとは蓋し少しく思慮ある者の腦裡に發生し來る可き懸念なる可し。觀じ來れば此等の事實は何れも最近に於ける産業界不安の念慮を誘發せる有力なる助因と稱す可きこと勿論なれども、併

し前節詳述せる如き根本的原因に基づく不安の念慮の一般に潜在せるものあるに非ずんば此等の助因が單獨に斯の如き一般的なる不安の懸念を惹起するの力ある可しとは吾人は遂に信ずる能はざるなり。

六

由是觀之所謂の産業界の不安は好景氣の發展に次で當然發生し來る可き必然の現象なり。苟も一度好景氣の氣運を生じたる以上、其終末期に近づくに及びて必ず發現せざるを得ざる一種の氣運なり。既に現經濟界の大勢上免る可らざる一定階段の現象なりとせば苟も現經濟組織の存續する限り此氣運の發現を全然根絶するは如何なる政府、如何なる政策と雖も到底能くし得る所に非ず。經濟政策の能くし得る所は企業家各自の慎重なる行動と相俟ちて末雨綢繆の策を講じ、其不安を多少輕減する一事あるのみ。蓋し此不安の發生は前述の如く好景氣期に於ける各企業家の無謀なる投機的行動に基因すること最も多きが故に、各企業家の間に於ける慎重なる行動の氣風の發達が此不安を輕減するの效果あるはいふ迄もなき次第なれども、併し政府の政策に於ても亦時宜に適せる手段方策の

實施に依り、企業家各員の警戒を促して好景氣の終止期に於ける此不安を緩和する可き幾多の途の存せざるに非ざるなり。

由來産業界の恐慌並に之に先立つ産業界の不安に對する政策をして完全に效果あるものたらしめんが爲には、時の當路者たる者は其事實の發生以前即ち景氣昂進の進行中に於て先づ其景氣昂進の調節に着手し、好景氣に伴ふて益、其度を加へ來る可き過度の投機を其未發に豫防するの施設に出でざる可らず。即ち景氣漸く順潮に向ふの風を示すや信用の膨脹之に伴ひ、而して其信用の膨脹は動々もすれば投機の風潮を翼進して好景氣の氣運を驀進せしむるの傾あるが故に、景氣の昂進少しく急速に陥らんとするの形跡を示すや當路者たる者は中央銀行の金融政策其他適當の方法に依りて先づ其投機熱の勃興を抑制せざる可らず。殊に這回の好景氣の如く其主因が海外の需要激増に在る場合に於ては輸出の順潮に伴へる通貨の膨脹先づ發生して信用の膨脹を翼進するものあるが故に、其通貨膨脹の餘弊の甚だしからざるに先んじて適當なる公債政策其他適宜の金融調節策に訴へ、過度なる企業熱抑壓の弊に陥らざる程度に於て通貨膨脹制限の策を立て

ざる可らず。斯くて投機の驀進を未前に防遏し、生産の擴張をして過度の投機に陥らざらしむるは懸て來る可き其反動を緩和し、産業界の發達を平穩に進行せしむる第一の要徑なり。唯、景氣の昂進期に於て少なくとも其進運の一部を沮害し、之を制限せんとする此種の政策は眼前の個人的利益の外遠く一般の利益を顧慮せざる多數實業家の怨嗟を買ひ其反感を蒙るを免れざる可しと雖も、苟も一國全般の利益を代表し、其永遠の利益を確保するを以て其任とせる當路者たる者は斯る一時的の非難反對に顧慮する所なく敢然其所信を斷行して、將來に於ける民衆一般の感謝を買ふことを期す可きなり。

其他、最近に於ける我が産業界の好景氣の如く其本源が急激なる需要の激増に存する場合に於ては急速なる事業擴張又は新企業設立の不可能なる結果として、勢ひ既存の企業をして事實上一種の獨占業たるの地位に立たしむるが故に、此等の企業家は時として其有利なる地位を利用し恣に其供給品の市價を引上げて所謂獨占的利益を壟斷せんとするに至るの危険なきに非ず。最近に於ける海運賃銀の暴騰或種の藥品染料等の暴騰の如き實際に供給不足の事實之を促せるもの

ありしにせよ、其一面には又多少、其商人及び所有者の斯る横暴なる態度に基因せるものなきやを憶はしむるものに非ず。然れば斯る場合に於ては政府は一般公衆の利益の代表者として此等獨占業者の代價政策に干渉し、或は直接の市價公定又は其他の制限に依り、或は間接に課税政策其他の干渉に依りて其市價を制限し又は其暴利を制限して之を一般公衆の利益に轉嫁せしむるも亦至當の處置といはざる可らず。非常時期に於ける非常の政策として英獨其他の交戦國政府が食料品其他の市價に干渉し、其取引に干渉せるは決して不當視す可きに非ざるなり。斯る見地よりして我が政府近來の施設を觀れば頗る遺憾とす可き點決して少なからず。過去兩三年來の我が産業界を觀れば、好景氣に伴ふ投機熱勃興の形跡は既に大隈内閣治下の下半期に於て明に其端緒を示せるものあり。従つて當路者は既に其當時よりして警戒の眼を開き適時適宜の調節策に着手す可かりしなり。然るに事此に出でず。却つて漫然好景氣の氣運に眩惑して只管之を謳歌するに過ぎざりしは正に第一着の失策なり。超えて現寺内内閣の成立に及び其當路者は遅滞ながらも直に金融調節の策に出でしも、投機の勢既に其白熱點に達せる當時の株式界の一度恐慌状態に陥らんとする形勢を示すや、忽違其緊縮の手を

緩めて爾來通貨の緊縮、信用の制限亦再び充分なるを得ざりしは亦遺憾とす可きものなきに非ず。更に最近に至り當時の大問題と爲れる物價調節策、海運調節策に着手せんとするに至れるも是又既に物價の昂騰、運賃の騰貴共に正に其絶頂に近づけるの觀ある時に際して初て行はれたるが故に、空しく不安を加ふるの端緒と爲りて未だ實效の充分に認めらるゝものなきは畢竟施す可き時機餘りに遅れたるの罪といふ可く、少なくとも産業界の不安を緩和するの手段として充分の效果を之に認むるを得ざるは吾人の遺憾とする所なり。

要するに我が政府の最近實施せる諸策は政策其物に於て決して非議す可き性質のものに非ず。總て來る可き好景氣の反動に對する調和策として當然實施す可き性質のものなれども、唯、憾らくは其實施の時期當を得ざりしが爲に眼前に迫れる産業界の不安緩和の手段と爲らずして却つて其誘發の一近因と爲りたるなり。然れど吾人を以て之を觀れば、此等諸策の實施は縱令ひ時機遅れたりとするも全然之を實施せざるに優るものあるを覺えざるを得ず。蓋し此等諸策の實施なかりしならんには世人の好景氣に酔ふの期間は或は一日の長きを得たるなる可しと雖も、既に其適度を超えて遙に奔騰せる物價の更に一層の奔騰は來る可き反動暴落の勢を更に著しく甚だしからしむるものある可し。暴落の勢未だ激成せら

れざるに先立ち、先づ此種の政策に着手して世間の投機者流を戒飾し、其奔逸を制限して將來の反動を小なからしめたる其效用は吾人之を認めざるを得ざるなり。さはれ、産業界の前途の不明は不安の一大原因なり。従つて政府の施設畫策の前途も亦可及的之を明瞭ならしめざる可らず。船舶管理令、物價調節令等の適用の方針範圍及び限度の明に一般に知悉せられざる、將た又金輸出禁止令の適用程度一般に知了せられざる、何れも共に不安の一原因たらざるを得ざる次第なれば政府當局者は此等政策の適用に就きて充分明瞭に其態度を公示し、以て之が生ずる不安の念を一掃するに勉めざる可らず。此點より觀れば最近に於ける我が當路者の施設畫策は其公布する法文の規定と共に一般に明確を缺くの憾なきに非ざるなり。

然り而して吾人は此産業界の不安救済に關し斯の如く政府當路者に望む所ありと共に、更に一方に於て我が民間企業家に對し繰返して其責任を重んじ徒に眼前の利益獲得にのみ着眼することなく、遠き將來の利益を顧慮せんことを切望せざるを得ず。蓋し民間企業家の慎重公明なる態度は好景氣反動の豫防に於ても將た又其豫防政策の實施に於ても最も有效のものたるを感ずればなり。

(大正六年十一月十八日稿)

## 所得稅改正論 (下)

成 瀬 義 春

五

以上論じたる如く個人の所得は其内容甚だ複雑にして、外部より正確なる數字を知ることには事實不可能なるを以て、勢ひ納稅者の申告に重きを置かざるを得ざる其結果、租稅道德の程度極めて低き我國に於ては、自ら脱稅の機會を多からしめ、稅法上左なきだに不公平なる納稅者の負擔を益、不公平ならしむるの事實ありとすれば、此弊を芟除して以て負擔の公平を期する爲めに、外部より容易に識別することを得べき有形物に、課稅の標準を求むることは、蓋し己むを得ざるの方法なる可し。然らば其標準を何れに求む可きや。此點に於ては異說多かる可しと雖も、納稅者の住宅の賃賃價格即ち家賃を標準として其所得額を査定する方法は最も實際の便宜に適へるものには非ざるか。